

2014年(第45回大会)

学校・家庭・地域から

主権者を育てる民主主義教育を確立しよう

## 全国民主主義教育研究会 第45回 大会

於 中央大学駿河台記念会館

社会科学教育 (social studies) は、1916年米国において、「善き市民」育成という目的をもつて歴史と社会科学を統合して教える教科として誕生した。この教科の誕生には、ジョン・デューイやチャールズ・ピアードが影響を与えていたことは周知のことである。「善き市民」という言葉には、自らが生きる地域社会の命運を担っていくこと、またデモクラシーの共通感覚の琴線に触れる出来事が起きたとき、立ち上がり、抵抗すること、また自分たちの力で、自分たちの社会を変えていくことが、期待されているだろう。今大会では、自らの力で社会を変えていく主権者を育てる民主主義教育のあり方を探究する。

### S 全体会 (第1日目:7月29日)

◆基調報告:「今、学校で問われている社会科学の授業」

報告者: 全民研常任委員 菅澤 康雄 氏 (千葉・高校)

### ◆特別報告

報告テーマ:「日本国憲法と自民党政憲案を眺み解く」

報告者: 弁護士 澤藤 統一郎 氏

### ◆大会記念講演 (第3日目:7月31日)

講師: 宇野 重規 氏

(東京大学社会科学研究所教授: 政治思想史専攻)

講演テーマ:「民主主義と教育—政治哲学の視点から—」

### ☆とき・ところ

◆とき 2014年7月29日(火)、30日(水)、7月31日(木)

◆ところ 東京 中央大学駿河台記念館

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5

Tel.03-3292-3111

### 交通アクセス

JR中央線・総武線「御茶の水駅」下車 徒歩3分

地下鉄丸の内線「御茶の水駅」徒歩6分

会場に駐車場はありません。

◆費用 大会参加費 全日程5000円 (学生3000円)

宿泊については、各自の対応をお願いします。

### ☆大会日程

日	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7/29日 (火)			受付	基調報告		特別報告					夕食交流会 (懇親会)		
7/30日 (水)		分科会	昼食	分科会									
7/31日 (木)		総会	記念講演										

### ☆分科会

#### 第1分科会 民主主義思想

民主主義教育を推進するフアクターは、社会の民主化それ自体であり、継続する福祉自体であるかもしれない。学校中の教師の「未完の闘い」についての報告が2本あり、これらから得たものをどう習得していくべきなのか、議論したい。また、教師の授業観から見る社会認識教育のあり方について、考察していく。

レポート① 「社会科学教師のライフストーリー—は次代に何をもたらすか (茨城・院生)

—ライフストーリー—研究の意義と可能性—

② 「民主主義をめぐる未完の闘い

—戦前・戦中・戦後を生きた一教師の記録— (東京・元高校)

③ 「職場の民主化を考える

—再任用更新拒否裁判の闘いの中から— (東京・高校)

④ 「ワイマール共和国の崩壊過程

—民主制の危機—の授業構成を考える② (東京・高校)

#### 第2分科会 憲法と政治・平和、経済

伺喝して沖繩の辺野古を強行。憲法第96条改定が手詰まりとみるや「集団的自衛権」を出してどうしよう、「私が何でも決める」と憲法違反も平気。目の前の生徒たちを見ると、経済上昇傾向との実感はない。この先にあるのはどんな憲法と日本なのだろうか。このような状況で、私たちは、何を学ばせていくべきなのだろうか。具体的な授業の取り組みとおして考えていきたいと思えます。

レポート① 「PBLを使った、グローバル・シディンズシッズ教育

—SGHの課題研究にむけて— (京都・中高)

② 「長沼ナイキ訴訟を考える—授業プラン作成

にあつたての検討事項— (北海道・大学)

③ 「主権者として税にどう向き合うか (大阪・高校)

④ 「3年目の福島: 東電原発事故が問われていること (福島・高校)

⑤ 「地球環境問題を考える」 (香川・高校)

#### 第3分科会 学力と授業づくり

授業をどうつくったらよいか。さらに、社会を見抜く見方と判断をする力を育てるにはどうしたらよいか、難しい問題である。本分科会では、「学力」を「授業づくり」と関連させて議論します。学力は多義的な言葉ゆえ、授業づくりも多様になります。「学力低下論」の対策として新学習指導要領が発表され、これに基づく「新しい社会科の授業」が提言されていくはずで、「政府の側」の授業づくりに対抗できる、全民研の授業づくりを一緒に考えていきたいと思えます。

レポート① 「ジグソー授業をどう見るか」 (神奈川・大学)

- ② 「大学での公民科教育法について」(東京・大学)
- ③ 「共同学習のとりくみ」(神奈川・高校)
- ④ 「教育政策・科学技術政策・資源政策としての原子力を問う」(東京・高校)

**第4分科会 自立と連帯、学校**

自立の経済的・社会的基盤をくずした上で進行する弱肉強食の世界。憲法13条が規定する幸福追求権が危機に瀕している。自立と連帯をすすめるには今、何が求められるのでしょうか。

- レポート① 「生徒の自立を促す社会科教育」(北海道・高校)
- ② 「障害者施設と障害者の自立」(東京・特別支援学校)
- ③ 「教職員の同僚性をどう作り出すか 元管理職の立場から」(東京・市民)
- ④ 「第二回全国生徒会大会と生徒会発展の方向」(千葉・中高)

**★申し込みについて**

- ① 資料作成の都合上、事前に下の「参加申込書」の内容を、メールにて大会事務局までお知らせ下さい。  
(アドレスは全民研ホームページ <http://demokurashi.web.fc2.com/> をご覧下さい)
  - ② 大会参加費 5000円 懇親会費 4320円 当日受付にてお支払い下さい。
  - ③ 大会に関するお問い合わせは、メールにて大会事務局までお願いします。
- ※ 会場での印刷はできません。視聴覚器具については、早めに事務局までご連絡、ご相談下さい。
- ※ 第1次々切 7月10日(水) 最終々切 7月26日(土)

**全民研第45回大会参加申込書**

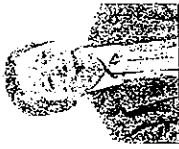
2014年 月 日

氏名	男・女 歳	会員・未会員
住所 〒	E-mail.	
Tel.	*下の希望欄に○をつけてください。	
職種	教員 (小中高大)	*参加回数 (初・2~4回、5回以上)
	学生・院生	*下の希望欄に丸をつけてください。
	その他	
勤務先	7月29日(火)	基調報告、特別報告
	7月30日(水)	分科会実践レポート
Tel	7月31日(木)	記念講演
参加希望 分科会 ( ) ( )	懇親会 (29日)	

**全国民主主義教育研究第45回大会**

特別報告 (7月29日)・・・「日本国憲法と自民党改憲案を眺み解く」

澤藤 雄一郎氏 1943年生まれ。1971年東京弁護士会に弁護士登録。東京弁護士会消費者委員長、日弁連消費者委員長、日本民主法律家協事務局長を歴任。現在、公益財団法人第五福竜丸平和協議会幹事。



憲法、教育、労働、消費者、宗教、司法、医療、薬害などの分野に関心。岩手靖国遺憲訴訟、湾岸戦争訴訟戦費支出差し止め請求事件、東京「日の丸・君が代」強制拒否事件担当。改憲への危機感から、ブログ「澤藤雄一郎の憲法日記」を毎日更新中。

記念講演 (7月31日)・・・「民主主義と教育—政治哲学の視点から—」

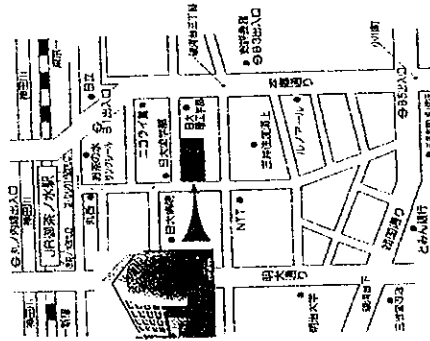
宇野 重規氏 1967年生まれ、1996年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士(法学)。政治思想史、政治哲学専攻。現在、東京大学社会科学研究所教授。『政治哲学へ—現代フランスとの対話』(東京大学出版会)にて、第22回沢沢・クロロデル賞(LV)特別賞を、『ドクヴィル 平等と不平等の理論家』(講談社選書メヂエ)で2007年度サントリ—学芸賞(思想・歴史部門)を受賞。



著書『民主主義のつくり方』(筑摩選書)、『く私—時代のデモクラシー—』(岩波新書)等。

**大会会場案内図**

**中央大学駿河台記念館**  
案内図



(印字用)  
 ●大会会場/分科会会場3号 ●駿河台駅南口徒歩5分  
 ●大会会場/分科会会場2号 ●駿河台駅南口徒歩5分  
 ●大会会場/分科会会場1号 ●駿河台駅南口徒歩5分  
 〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5

現代政治と立憲主義

3・11と投票づくり

憲法教育の実践へ

樋口陽一  
イタリヤ  
現代憲法政治と憲法教育への視点

金子勝  
二一世紀の  
憲法分権ネットワーク社会  
の形成をめざす

松竹伸幸  
北野史郎を招き、  
憲法分権のネットワーク  
を形成する